

日本の自動車保有台数は現在8,300万台を超えていますが、今も昔も変わらず、その一台一台は“整備”という大切な行為によって支えられています。

一方で自動車業界は、100年に一度の大変革期に入っており、「CASE(コネクティッド・自動化・シェアリング・電動化)」による技術革新が進む中、クルマの概念は大きく変わろうとしています。

当校は自動車整備の基本はもとより、これら技術の進化を先取りしたカリキュラムをいち早く取り入れ、将来の日本の自動車産業を担うエンジニアの育成に教職員一丸となって取り組んでおり、数多くの卒業生が様々な第一線で活躍しています。

自動車エンジニアを目指す皆さんが、その“夢”を叶える為の第一歩を、この日産栃木自動車大学校で踏み出される事を、教職員一同、心からお待ちしております。

日産栃木自動車大学校
学校長 小林 裕明

